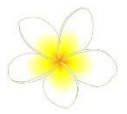




ມາຈາກແຄມຂອງ~メコン川のほとりから~ 第1号



サバイディー！（こんにちは）

現在、青年海外協力隊としてラオスで活動中の本校教諭のコウラです。

この通信を通して、大妻中野の皆さんに「ラオスのこと」「青年海外協力隊のこと」「開発途上国のこと」「海外で生活すること」などをお伝えしていきます！

○●『ラオス』って、どこにあるの？どんな国？●○

正式名称はラオス人民民主共和国といい、後期開発途上国の1つです。中国・ミャンマー・タイ・カンボジア・ベトナムの5か国と接している内陸国（海がない国）で、日本から直行便の飛行機はありません。

全人口の約半数以上であるラオ族を含む計49民族からなり、言語はラオス語（ラオ語ともいう）です。

首都はビエンチャン、コウラが活動しているところは中部最南のサバナケット（サワンナケートともいう）というところです。

次号から、食べ物・季節・宗教などを紹介します！



↑ 外務省 HP より

日本はどこだろう？

世界地図で探してみてね♪

= インタビューコーナー =

ここでは海外在住の卒業生や、他国で活動中の協力隊の人にインタビューをしていきます！

初回はコウラの自己紹介におつきあいください！

Q.妻中の先生なの？

はい、数学科の先生です(^)/ 帰国したらまた妻中で先生をします。

Q.どれくらいラオスにいるの？

2016年6月30日から、2018年3月21日までの1年9か月です。

Q.どうして青年海外協力隊に応募したの？

海外の教育を自分の目で見て、自分の言葉で経験を伝えたかったからです。

「グローバル」という単語を、自分の言葉で説明したいと思ったからでもあります。

Q.ラオスでのあだ名はある？

ラオスネームとしてチャンパー(ຈຳປາ・ラオスの国花プルメリア)をつけてもらいました。



●○『青年海外協力隊』って、なあに？どうやってなるの？○●

電車の中吊り広告等で、見たことがある人もいるかもしれません。

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために生かしたい」という強い意欲を持つ 20～39 歳の方が応募できる、JICA（ジャイカ・独立行政法人国際協力機構）の海外ボランティアのことです。日本政府が



行う ODA（政府開発援助）の一環で、派遣期間は原則 2 年間、約 200 種の職種に分けられ、派遣国はアジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東です。

応募者は「職種」「国」「活動先」を選んで応募します。一次選考（書類審査）と二次選考（面接）に合格すると、70 日間の「派遣前訓練」を受けます。派遣前訓練では、活動で使用する語学はもちろん、安全管理・異文化適応などについて学び、試験もあります。訓練が終了すると、いよいよ各国へ出発となります。

次号から、派遣前訓練・どんな職種があるのか・語学についてなどを紹介します！

＊ ＊ ＊

青年海外協力隊の他に「シニア海外ボランティア」、「日系社会青年ボランティア」、「日系社会シニア・ボランティア」があり、他にも短期ボランティアもあります。興味がある人はぜひ HP を見てみてくださいね！

JICA ボランティア <http://www.jica.go.jp/volunteer/>

～他国の協力隊アレコレ～

今回は「活動している国で、一番驚いたことは？」と質問してみました！

犬を食べること（東ティモール・理学療法士） **犬**に噛まれた瞬間（ラオス・養殖）

冬寒くて、鼻毛が凍る。深呼吸するとむせる。（モンゴル・小学校教育）

普通の人がいきなり歌い出す。スーパーの店員さんも。（フィリピン・障害児者支援）

料理に使う油の量が多すぎる。卵焼き作るのに油の方が、量が多い。（マレーシア・障害児者支援）

時間の感覚が**アバウト**で時間通りに始まらない（ジンバブエ・PC インストラクター）

信号がないのに、うまいこと車が行き交う交差点。（ラオス・青少年活動）

先生が授業サボる（マラウイ・理科教育） 鍵の差込口が反対！（ラオス・看護師）

これって何？と思った単語はぜひ調べてみてください。次号へつづく！